



大 大 大

お お く て



町民ゴルフ大会にて（大湫パターゴルフ場）

次世代の大湫を担うのは子どもたち！
大きく変わろうとしている地球環境
未来が安心して暮らせる地球を次世代に
渡すのは、今の大人の責務

主な目次

町民パターゴルフ大会	1
花の森草刈り作業	2
「学校運営協議会」開催	3～4
家庭菜園に役立つ6月の農作業	6
集まろう会	9
丸森だより	11

町民パターゴルフ大会

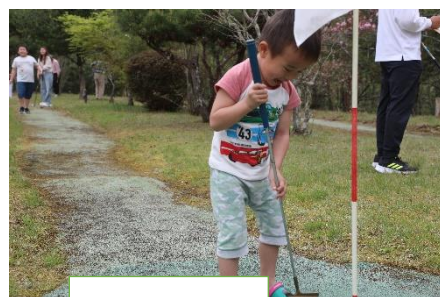
よいスコアを出す子どもたち 大人も負けじと頑張った

4月21日(日)

天気が心配でしたが、無事、町民パターゴルフ大会を開催することができました(表紙写真)。

大湫町コミュニティ推進協議会と体育レクリエーション委員会が主催して毎年この時期にこなう全町民を対象とした一大行事です。

この大会は町内の年配の方からお子様までの幅広い年齢層の皆さんが、一堂に集まりパターゴルフをおこないます。これによ



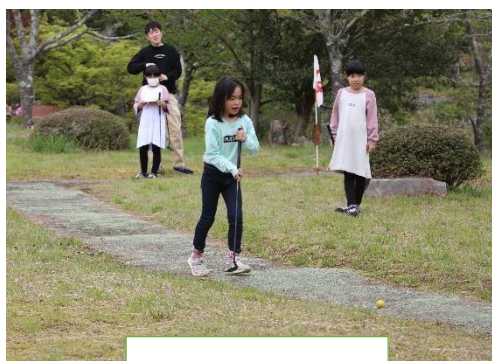
もう一息さ

り普段あまり顔を合わせることもない地域の人の交流が出来る場になれているのかなと思います。

今年はお子さん達も良いスコアを出しています。慎重になりすぎないのが良い結果につながっているのかなーと思いました。

みなさんが楽しみながら参加してください。大変ありがとうございました。

さらに盛り上がるパターゴルフ大会にしていく様、体育委員9人(小栗康彦・山口悦司・棚橋 悟・加藤 元・小栗啓輔・川平晃弘・額額博紀・小出友吉・



カップはそこだ

桐井啓子)、力を合わせて頑張りますので、今後の行事にも引き続き温かいご支援のほど宜しくお願い致します。

なお日頃より町民の皆様には体育レクリエーションの活動にご理解、ご支援頂き感謝しております。

体育レクリエーション委員長

小栗 康彦



プレー前に全員で準備体操

「花の森」草刈り作業

立ち枯れ樹木伐採

雨が心配される5月12日（日）、草刈り作業がおこなわれた。区長会の呼びかけで、財産区議員、自然保全委員も参加し、草刈り作業や枯れ木の伐採をおこなった。

草刈り機やチェーンソー持参で集まった22名が、勢いよく伸び散策路を埋め尽くす雑草を刈り、枯れた樹木を切り倒していった。

「30分やつたら10分休みだ」「怪我を防ぐには休みが大事」

花で埋め尽くされた山にするために、町民で植えられた桜や



シヤクナゲ、ツツジ。さらに養蜂組合の要請に応じて植栽したアベリアなどの蜜源植物がある。

散策路が縦横にあり、ワラビやタラの芽の採集に利用される。ササユリの咲く山でもある。

8時に駐車場に集まり、瀬瀬区長会長からは「くれぐれも事故の無いように」と。11時頃までには、山は見違えるほど整備された。「ずいぶん手が入っていたなかつたようで、大変だったよ」「ここから見られる風景がいいのかなあー。わしらには見慣れた景色だが」「里山の風情、このたたずまいが、住んでいない人には魅惑的なんじゃないの」と、休憩時に東屋



散策路の草刈り作業

から大湫集落を眺めて。

区割りされた担当区域を終えた面々が駐車場に帰ってきた。駐車場の横にあるため池を見て、「池の水がない」「こんなこと、以前にあった？」「ないねー」「この貝は？」「この池に棲んでいた貝さ」20 cm程もあるドブガイがテーブルに置かれている。水涸れで、すでに死んでいた。

この日の翌日から、井戸水の低下やため池の水涸れが、リニア工事との関連と指摘。

マスコミで大きく取り上げられた。

日頃は静かな大湫の空をへりが舞った。



東屋から望む大湫

瑞浪北中学校 『学校運営協議会制度』に取り組み、2年目

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会制度」を取り入れている学校のこと。瑞浪北中学校は2023年度からこの制度を取り入れています。これは学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む制度。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていこうとするものです。

発足2年目となる今年度は、「準備委員会において、前会長・副会長を中心として、組織・活動内容の見直しが行われ、第1回学校運営協議会の実施（5月13日（月））となりました」

協議会委員からの次のような感想や意見が出されたといえます。

△授業の中で、一人一人が自分で考える時間が確保されているか。グループで交流することでのメリットとともにデメリットも踏まえる必要がある。分かる子が教えるだけで終わってしまったのは弱い。

△指標の設定数値に届かなかった生徒にどう対応していくかがポイント。

△同じ反応から脱却したい。「じっくり考える」時間の確保を計画的に行う。

△学校へ来られない子への丁寧な対応の継続をお願いしたい。

△地域マップの作成に当たっては、タブレットで見られるようにしたい。

△ボランティアに



参加する生徒に係る保険問題。

危機管理の観点から、万が一の対応をしっかりと取っておく必要がある。そのため

の予算が必要。公民館の活動には保険が掛けられている。

○生徒たちが明るく、よい雰囲気授業に臨むことができていた。

○生徒会の発表はゴミ拾いなど、ねらいが明確でとても良かった。

○小学校の会議の時、児童の声がほしいと思ったが、今回の会議では、生徒会から地域への要望があり、大変良かった。

○学校の中がとてもきれいだった。図書館の薦めの本の紹介は、温かさを感じた。

活発で様々な意見が出され、2時間の予定が3時間になるほどでした。



釜戸小学校、24（令和6）年度 第一回学校運営協議会開催

「地域・学校・家庭がスクラム組んで『チーム釜小』で取り組みたい

5月13日に今年度の第1回学校運営協議会（以下協議会）が開催され、会長湯原定雄氏、副会長松浦大哲氏ら多数の参加があった。

山田隆二釜戸小学校校長から第1回協議会について『広報大湫』編集委員会に概略次のような報告をいただいた。

「地域、学校、家庭が目指す子ども像は①ふるさとの『人、自然、歴史、文化』の魅力に気付く子②ありがとうの気持ちを言葉や行動で伝えようとする子です」

後、各部会に分かれ何ができるか話し合われた。

学習・地域活動部会では「児童の主体性を育む」ためにどのような支援ができるか。

安全・環境活動部会では「児童の安全な登下校を守り、安心な生活をつくる」ために何をしなければならぬか

「熱心に討議していただきました。このことから釜戸小学校の子どもたちは幸せだと実感しています」

保護者の皆さん

「ミスクに目を向けて

部会に分かれた討議

学校の経営方針について、討議、承認

釜戸小学校としては「今年度は、保護者の皆さんにもコミュニティ・スクール

（以下コミスク）に目を向けていただけるよう、まずは子どもたちが家庭で『今日のコミスクではねえ…』と話すことが多くなるように。

また、「子どもたちが家庭で地域の大人が講師として係わった授業の話をするとき、『地域の人』ではなく、『釜戸の〇〇さん』『大湫の〇〇さん』と、より親しみを込めて話すことになれば、保護者の皆さんも『〇〇さんね。知ってるよ。ありがたいねえ』という会話になることを大事にしたいと思っています」

そうやって学校運営協議会を学校経営の柱として「チーム釜小（地域・学校・家庭）」が強く結びついていけるように尽力したいと思います。



移住定住をお手伝い、応援しています。

大湫町転入対策委員会

私達、転入対策委員会の取り組みでは、瑞浪市の移住定住政策の支援を受けながら、田舎暮らしを求める人達や、自然豊かな環境で子育てを望む家族など、大湫移住希望者の、少しでもお力になれるように、お手伝いをしています。

転入されたみなさんが、田舎のくらしを楽しみ続けられるために、私たち大湫町の転入対策委員会が移住者を受け入れ続ける取り組みや転入者を、温かく迎え入れる地域の風土を高め合っていくことが、とても大切だと思います。

また、空き家を放置しない取り組みも、急務になってきました（防犯の面からも）。

何か尋ねたい事がありましたら、下記の転入対策委員や市民協働課に、ご相談下さい。

令和6年度 転入対策委員会

柘植 巧（神田区長）	高野 雅夫（教授・顧問）
池戸 孝文（神田区）	玉川 幸枝（オブザーバー）
秋山 仁恵（北区）	樋田議員（オブザーバー）
熊谷 智代（北区）	福永議員（オブザーバー）
棚橋 和代（西区・委員長）	山下 千尋（オブザーバー）
向井 一峰（西区）	市民協働課（市役所）
足立 亘（足又）	
奥村 敏郎（足又）	

※ 連絡先 TEL：0572 - 68 - 9756 Eメール：kyoudou@city.mizunami.jp

観音堂拝観のご案内

観音堂の仏像（本尊、33体の観音像）を公開します

開帳日時（「丸森」にご集合ください）

実施日		ガイドの時間（約80分）
1日目	7 / 13（土）	10：00集合
2日目	7 / 14（日）	10：00集合
3日目	7 / 15（月・祝）	10：00集合

募集人数 各日10名程度 参加料 無料 申込締切：7/6

集合場所：『丸森』 問合せ先：『丸森』0572-63-2455（9：00～16：00）

家庭菜園に役立つ6月の農作業

「自然相手は難しい。農業は頭を使わなくちゃできないよ。毎年自然は変わり、同じ条件はないからね」と、三浦順三さんはきっぱり。

家庭菜園といってもかなり本格的。圃場には、ナス、オクラ、トウモロコシ、ピーマン（以上は連休前に播種）、モロッコインゲン、キャベツ、トマト、ゴーヤなど多種類の野菜が植えられている。早生のタマネギはもう収穫時期だった。夏野菜の代表的なキュウリ、ナス、トマトなどは時期をずらして植え付ける準備が整う。切れ目の無いように収穫できるように考えられている。



自作の育苗ビニールハウス



トウモロコシの補助で

低下し、日中は結構温度が上がるとき

もある。自作の小型の簡易ビニールハウスを製作し、そこで苗を育てるようになっている。

「何よりも必要なのは、野菜の状態をよく観察する。光がちゃんと当たるように整枝や葉欠きをやってやる。ナスは水と肥料を欲しがかるから、状態を見ながら時には液肥をやるよ」「経験がいるね。でも最近はYouTubeでわからないところは教えてもらえるから・・・」

定植されたものの作物も元気に育ち、防虫ネットも掛けられ、雑草もほとんど見られない、手が行き届いた圃場だった。雑草取りは奥様が丁寧にとって下さるという。

「クテの市」にキャベツやモロッコ、エンドウが間もなく出るだろう。楽しみだ。

三浦氏の圃場はビックリするほど雑草が生えていず、きれいに整備されていた。育てる野菜への愛情が感じられる。



ネットで虫の被害から守る



聞き手と文（長谷川明）

追悼

シードハンター

山口清重氏を偲んで

「今年のピンクパラソルは例年になくきれいに咲いてますよ」

「そうかね」

たしか、山口清重さんはこう言われた。言葉はやや不明瞭だったが。

山口氏宅のピンクパラソルが満開の頃だった。

ピンクパラソルは山口清重さん（以下清重さんと呼ぶことをお許しただきたい）によって世に送り出された。ピンクの花を咲かせるムシカリ（オオカメノキ）だ。「大竹郁三氏（大湫町在住）が、山取りしたムシカリ2本を庭に植えていて、そのうちの一本がピンクの花を咲かせた」という。これを台木として耐暑性がないものを暑さに負けない苗に作り直された。こうしてピンクパラソルは生まれた。

イギリスの王立園芸協会の Roy

Lancaster（ロイ・ランカスター）氏が清重さんの圃場を訪ね、母国に苗を持ち帰り、咲いたピンクの花を見て「ピンクパラソル」と命名したと聞いた。

清重さんは筆まめだった。「みねはな」（みねはな会機関誌）の60号から71号までに欠かさず寄稿。遺稿文の掲載となった71号（24年3月31日刊）が施設（ナーシングホームケアリー土岐）の部屋に届けられていた。

「山口さん、『みねはな』が届いていますね」

「持って行っているよ」

「まだ、山口さん、読んでないんじゃない？・・・」

「いいよ」

「じゃ、借りていきますよ」

清重さんは、この時にはもう文字は読めなかったようだ。眼の不具合も進行していたようだった。



実は緊急搬送され、手術はできなかったが、搬送された翌日、白内障の手術をするはずだった。

定かではないが1月頃だったと思う。清重さんは次のようにいったことがある。

「最近、物が二重に見える。夜は見づらいから夜の運転はしないようにしてる」

シードハンター50年

シードハンター。園芸家。樹木種子採集者。「日本シデコブシを守る会」事務局長。

これらは清重さんが持つ肩書きだ。

木に登り種を採る。これ生業とする人はほとんどいない。自分は50年続けたが・・・、と彼は言った。

木に登り樹木の種（たね）を取る。何時、何処に目的の木の種があるかは、しっかりとノートに記されている。

植物を探し出すだす確かな眼は鋭い。『オオヤマレンゲ』の種取りに同行した

ことがある。ビックリするほど足腰は達者で、年齢を感じさせなかった。

この山口清重氏が4月25日に永眠された。およそ三か月の闘病生活だった。救急搬送され、そのまま入院された。10日間ほど関東・甲信地方の同業者や知人宅を一人で周り、帰宅された数日後である。

そして急ぎ旅のように再び一人で旅立った。急に、しかも思い立ったように。今年(24年)の10月、欧米の研究者らが日本の樹木を見に来る計画がある。その一行を木曽から東濃までの地域を案内する予定だった。

中国の植物に魅せられて

植物をこよなく愛し、特に樹木の魅力を広く伝えるため精力的に行動された。常緑のヤマボウシや大きな花の咲くハランそしてトキワマンサクなど中国の植物。どれも日本に紹介したのは彼だ。1998年初夏、萩巣樹徳氏の案内で大湫町のタカサゴユリ栽培家だった天

野長三郎氏らとその自生地を訪ねるため訪中した。

自然への造詣も深かった。自然に向き合うことで、自然を破壊する行為を鋭く批判した。

自然は、留まってはいいない。同じ環境でも植物遷移は進む。人間にはとても長い時間だ。だから、人の物差しで見れば自然も保存でき、とどめ置くことができる。そう考えるのは人間の傲慢さでもある。

清重さんはよく日本列島がユーラシア大陸と繋がっていた時代を例にだす。「大きく変わったじゃないか」

最終氷河期の生き残りで見られるマルバノキは、局所的に分布する。大湫では普通に見られるが。

播種した多数のマルバノキから斑入りのものを見いだし、彼は「恵那錦」と命名した。

シデコブシは。日本



恵那錦

固有種。やや湿った土地に自生する。東濃、南信州、各務原、菰野、渥美などに点々と見られる。今では東海丘陵要素植物の一つとして研究も進んでいる。

清重さんは故糸魚川淳二氏とともに、東濃地域のシデコブシ保存に尽力し、伊勢湾周辺に点在する自生地のそれぞれにあったシデコブシに係わる「会」を結集し「日本シデコブシの会」を立ち上げた(その核となったのが大湫自然保全委員会)。

ちよつと脱線したが、清重氏の自然に向けた眼は社会にも向けられ、その眼力は確かで、先を見通す力があつた。

「裏田」の水涸れがリニアの工事によって生じないかと、心配を口にしたのも彼だった。

もつと教え乞うておけばよかった。「どんど」の集まりだったが、「仁淀川に行こうじゃないか」、「足又の皆を連れて鮎釣りに行く」と言った台詞が耳に残る。合掌。

文責 長谷川 明

お集まろう会 6月

R6

☆太鼓は... 6月16日(日)と、6月22日(土)も。

予定していますが、公民館の改修工事に、かかると、お休みと、なります。その時は、連絡します。

☆さつま芋は、今年は、1回休みとします。(やっぱり)、やりたいなと、みなさんの声が出たら、やりましょう。



5/11(土)太鼓練習の様子

※追伸：公民館改修工事のため、

講堂が、使えません。練習は、「高砂ふれあいセンター」で行います。9:30~です。みなさん、集まって下さい。楽しく練習しましょう。

大湊町コミュニティ推進
協議会 集まろう会

大湫公民館

ロビー紹介

6月

おりがみの五月飾り展示



5/3（金）の「リ・アップ」ひよも”
「端午の節句の会」にて
かわいい五月飾りを作りました！
公民館ロビーにて集まろう会作品の
やっこさんと一緒に展示しました！

素敵な作品をありがとうございました。



公民館講座のお知らせ

・ふるさと料理「朴葉寿司作り教室」

場 所：公民館調理室または宗昌寺
日 時：6/8（土） 9：30頃から
受講料：500円（子供無料）

・ふるさと料理「カリカリ梅作り教室」

場 所：公民館調理室または宗昌寺
日 時：7/5（金） 9：30頃から
受講料：500円 定員：5～6名程度

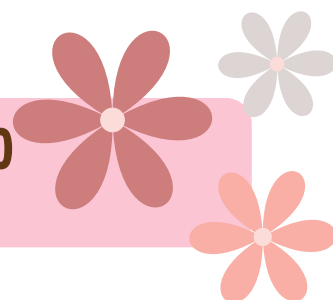


朴葉や梅の様子、公民館の改修工事の進捗状況等
様子を見ながらの開催となります。
開催日時、会場の変更がある場合随時お知らせします。
公民館までお申込みください。



大湫公民館：0572-63-2360

主催：大湫公民館 共催：集まろう会





2024(令和6)年6月

丸森だより

丸森：
旧森川訓行家住宅
国登録有形文化財
瑞浪市観光案内所

□丸森の企画□

・仙石さんの『大湫宿水彩画展』好評により5月末まで延長します。4月の企画として大湫宿を描いた水彩画（釜戸町在住の仙石利哉さん作）を展示してきました。あらたに簡単な説明もつけられました。

・6月22日（土）長谷川明さん（講師）による「大湫ぶらり植物探索」。第2弾。前は令和5年9月に行いました。「また、ぜひやってほしい」との声が多かったので、計画しました。皆さんの参加お待ちしております。

10:00～11:30 講師長谷川明さん。定員20名程。参加費無料。

電話予約丸森 0572-63-2455

【来場者数】

	町 外		町 内		合 計	(内) 外国関係
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
4月度	441人	9人	62人	14人	526人	166人
5/16日迄	185人	24人	14人	3人	226人	46人
	R6,4月～	964人	オープン～	55,766人	前年同月比	110%

□最近の丸森□

5月10日（金）陶小学校3年生12名の可愛い来宿者、丸森にも立ち寄って下さいました。座敷に上り職員の作った折り紙のコマで楽しく過ごしてくれました。気持ちよい挨拶も出来て、しっかりしたお子さんたちでした。



陶小学校三年生の皆さん

丸森職員を募集します

- ◇施設長 ◇勤務◇1日～2日/週 ◇給与☆固定給（詳細は別途）
- ◇臨時職員 ◇勤務◇4日～5日/月 ◇給与☆時給（詳細は別途）
- *勤務時間：いずれも 8:45～17:15 休憩1時間

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	リ・アップ “ひよも” 《6月のひよもの活動》「フルーレ」包括支援センター出前講座 日 時：6月5日（金）10:00～11:00（予定） 場 所：公民館講堂
	大湫宿お休み処 6月の営業日 2日（日）・9日（日）・16日（日）・23日（日）・30日（日） ※当日（お急ぎ）の予約は、丸森（☎0572-63-2455）へ お願いします。
	オススメ!! 大湫分室の本 『逆転泥棒』 藤崎 翔/著 双葉文庫/出版 忍び込んだ豪邸の主は初恋相手?! 驚きの「逆転トリック」がさく裂する! 4月の大湫分室 利用者数：25人 貸出冊数：85冊
	デマンド交通 4月利用者(大湫～日吉東部) 16便 延30名(稼働率12.7%) 皆さん、たくさん利用して下さい。
	没後160年記念三代歌川豊国「人物と街道を描く」 日時：4月4日（木）～6月16日（日） 場所：中山道広重美術館 特別展「知られざる近代美濃焼」 日時：4月27日（土）～9月16日（月・祝） 場所：瑞浪市陶磁資料館 上記招待券1枚で2名まで入場出来ます。公民館までどうぞ
	青色回転灯防犯パトロール 6月のパトロール予定者 上旬：石田 義人・奥村 敏郎 下旬：北澤 健次・渡辺 貴憲
	6月の『クテの市』開催日 2日（日）・6日（木）・9日（日）・13日（木）・16日（日） 20日（木）・23日（日）・27日（木）・30日（日） 新鮮な野菜がいっぱいです どうぞご利用ください

水涸れは、リニア工事の影響か

1週間で激変した

区長会長 瀬瀬富久

5月15日は朝からヘリコプターが舞い、報道の車両や取材記者などが押し寄せるなど、さぞ驚かれたことと思います。大変なご迷惑やご心配をおかけしました。これは5月13日に、JR東海による北・西区住民に対する「共同水源及び個人井戸への対策等に関する説明会」を開催し、翌日に瑞浪市に状況説明したことによるものです。

13日の説明会には、JRから岐阜西工事事務所長を含む7名と施工会社清水JVから3名、市は企画政策課課長、農林課長など4名が出席。地元からは市議会議員を含む35名が出席しました。工事事務所長よりお詫びと担当課長からの掘削状況、共同水源及び個人井戸の水位低下に関する状況説明など。

厳しい意見や要望

質疑応答では、JRの対応に対して

「本気で対応しているのか、もっと上層部が来て説明するべきではないか」

「工事を止めて原因を究明するべきではないか」

生活への対策では「田植えが始まるが、水がいつ涸れるか心配である」

「JR職員が大湫に常駐して、地元の意見を聞いていくべきではないか」

情報面では「情報の開示が後手となり、市とも連携が取れていない。情報共有と情報開示をしてほしい」「大湫の工事に関し、JRのサイトで随時解説してもらえないか」など

これらの意見はほんの一部であり、年齢を問わず参加者から厳しい意見が飛び交い、19時から開催した説明会は2時間近くに及びました。

武並工区の説明会も早急に

「このような状況を受け、神田区民はとても心配している。一刻も早く武並工区の説明会を開催してほしい」と市側へ要望しました。

その後の経過

市長からも電話

翌日のお昼に市長から「報告を受け、朝から知事と連絡を取り合っている。心配をおかけしている」と。

15日の午後から、市のリニア中央新幹線対策事務局長、企画政策課長が訪れて県に提出。13日の説明会の内容を取りまとめた意見書の作成を加藤コミ会長と行いました。

16日、企画政策課長から意見書の内容確認の連絡がありました。その折、県庁に出向く際に私も同席したいと願いました。しかし、「至急県への提出を求められている。今回はメールで行う」と。何かが急に動き出しているように感じました。

その日の夕方、JR東海社長の記者会見の報道があり、工事を一時中断と。しかし、その内容については納得するものではありません。

17日には、斉藤国土交通大臣が記者会見で「井戸水やため池の水位低下について、JR東海からリニア中央新幹線

のトンネル工事の影響である可能性が高いとの報告を受けている。会社に対し、速やかに原因究明を行うとともに、地元住民の方々などへの丁寧な説明を求める」と。

19日には県から環境安全推進企画監が訪れ、涸れ井戸などの現状を確認。わずか1週間で大きく状況が変わりつつあります（19日執筆時点）。

これもひとえに町民皆様方の大きな声が届いたおかげです。これからも「広報大湫」にて随時報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

区長日記

これから梅雨の時期に入ります。身体の不調を感じる方も多いのではないのでしょうか。また、コロナ感染者も三カ月ぶりで増加との報道もあります。体調管理には十分注意してください。5月12日は花の森公園の草刈りボランティアの協力をお願いしたところ、

農繁期のお忙しい中、多くの方々が駆けつけていただきました。ありがとうございました。新緑の展望台から眺める水田に植えられた稲の苗に、癒しや生命力を感じるのではないのでしょうか。一度訪れてみてください。

今月13日は市長と語る会が開催されます。第2部では、地域主体で策定した「地域計画」について自由討論します。これは先月号で紹介したように、令和2年度に策定された「大湫町ミライ総合振興計画」が高く評価され、この計画作りをモデル例として各地区が策定したものです。大湫町では、既に策定してありますので、区長会・幹事会で昨年度見直しをして「大湫町地域計画2024」を作成しました。これは、3月の「広報みずなみ」などの配布資料と一緒に各家庭に届いていると思いますので、持参してご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

瀬瀬

5月

8日 社協支部長連絡会（代理出席）

10日 定例区長会幹事会

12日 花の森公園草刈りボランティア作業

13日 共同水源及び個人井戸への対策等に関する説明会（JR 東海）

15日 リニア中央新幹線対策事務局・市企画政策課意見書取りまとめ

17日 釜戸小学校草刈りボランティア作業

19日 県環境安全推進企画監来訪対応

28日 社協大湫支部役員会



24	23	22	21	16	14	13	11	9	8	7	6	5	3	2	日	令和六（2024）年六月行事予定
月	日	土	金	日	金	木	火	日	土	金	木	水	月	日	曜	
広報委員会	モニタリング	大湫太鼓練習	夏祭り実行委員会	瑞浪市主張大会 大湫太鼓練習	子供会	市長と語る会	青少年育成町民会議	夏季奉仕作業	公民館講座（朴葉寿司づくり）	定例区長会・幹事会	転入対策委員会	リアップ“ひよも”	財産区全員協議会	青少年育成市民会議	予 定	
不燃ゴミ：6/6（木） 資源ゴミ：6/20（木）																

6月は環境月間

1972年日本とセネガルの提案を受けて6月5日を「世界環境デー」に定めた。地球のことを考えてみよう

10日は時の記念日

6月10日は「時の記念日」671年、唐から伝えられた水時計を建造し、太鼓や鉦で時を知らせた。

現在の暦にすると6月10日。1920年に制定された。（「日本時計協会」）。

編集後記

5月は大変な月となってしまった。2月下旬からリニア建設工事による井戸、ため池の水位低下の問題で、全国的に話題の町になってしまった。いろいろ報道される中で5月18日付の「中日新聞」の『中日春秋』で、今回の騒動を中山道の宿場町である歴史から紐解き、現在の模様を的確に報道していただいた。お陰で、短期間で市、県そして国（国交省）まで情報は届いた。このことに安堵したものの連日の報道陣には不慣れもあり、困惑気味の昨今である。

D

編 集 発 行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会

2024（令和6）年6月1日 瑞浪市大湫町 4221-1 ☎0572-63-2360

<http://okute-shuku.jp>

表紙写真
棚橋哲夫